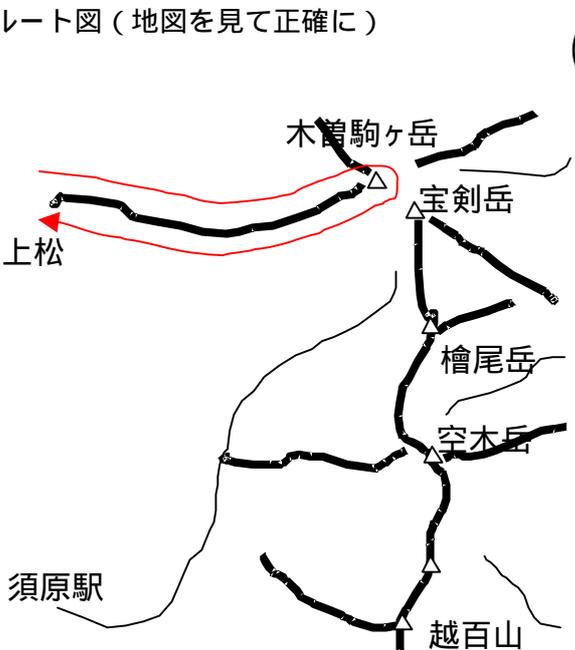


個人山行 山行報告書			報告者	村越	参加 メンバー	CL: 板倉 亀山, 町田, 村越
			報告日	12 / 11		
山域	木曽山脈(中央ア)	山行日	02年12月7日(土) ~			
山名	木曽駒ヶ岳		02年12月8日(日)			

山行目的	雪上訓練	コースタイム(天候: 天気図記号)	
配布先	ルート図(地図を見て正確に) 	12 / 7 曇り	12 / 8 小雪
集会:12		7:00 出発	5:00 起床
山行:1		7:55 3合半	6:45 出発
リーダー		9:10 4合半	7:40 頂上
原紙:集会 担当者		10:15 金懸小屋	8:20 木曽前岳
	11:30 6合半	テント撤収	
	12:45 8合目	10:00 8合目	
	14:00 木曽前岳	11:30 5合目	
		13:00 駐車場着	

山行報告 どんより曇り空の中車道を歩く。20分程で敬神ノ滝山荘に着く、今年は早くから雪が降っているので道も雪が積もっているかと思っていたが、全く雪はない。ここから登山口を歩き始める。金懸小屋の少し手前から雪が出始める、雪もぱらぱら程度に舞っている。登山道の表示もしっかりしている。八合目にテント場に最適な場所だったが、今回は雪上歩行が目的の為に進む。この辺りからは雪も多い。前岳の岩陰でテントを張る。シンシンと雪が降り積りテント周りは数十cmになる。雪を取り除くが、朝には元の木阿弥である。そのせいか酸欠で頭が痛い。駒ヶ岳へは空身でピストンする。昨夜の降雪で埋まる。足を引き上げるのが大変。体が慣れたのか5合目からは快調に下る。合宿前のよいトレーニングになったと思う。しかしながら、上松尾根は長かった。

リーダー所見	フリースペース 山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に
久々の冬山前の雪上訓練で、木曽駒ヶ岳・上松尾根を計画したが、今回の合宿に適した、長く登り応えのある尾根である。	
やはり、合宿前に雪上訓練は非常に重要であることを再認識した。	
就寝時の酸欠については個人差はあるものの、全員が頭痛の症状があったことから、間違いなく酸欠であろう。原因はテントを覆った湿雪である。3月位に起きた五竜岳の酸欠事故も同じような天候であったが、今回のような風がまったくあたらぬ所も要注意である。	

リーダー
板倉
 2002/12/10
 作成
 (報告者)
村越
 2002/12/10